

予 算 要 求 資 料

令和4年度当初予算 支出科目 款：民生費 項：児童福祉費 目：家庭児童福祉費

事業名 岐阜県子育て家庭応援キャンペーン事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

健康福祉部 子育て支援課 少子化対策係 電話番号：058-272-1111 (内 2437)

E-mail：c11236@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 10,602 千円 (前年度予算額：10,213 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	10,213	5,085	0	0	0	0	0	0	5,128
要求額	10,602	5,279	0	0	0	0	0	0	5,323
決定額									

2 要求内容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

子育て世帯を社会全体で応援する機運の醸成を目的に、平成18年度から県内の18歳未満の子どもがいる世帯及び妊婦に「ぎふっこカード」を、平成27年度から18歳未満の子どもが3人以上いる世帯に「ぎふっこカードプラス」を交付し、参加店舗でカードを提示することで割引などのサービスを受けることができる岐阜県子育て家庭応援キャンペーン事業を実施している。

令和元年度にカード利用者を対象に行ったアンケートにおいても参加店舗数の増加を望む声が多いため、制度のさらなる充実に向け、引き続き制度周知を行っていくとともに、参加店舗の拡大に取り組んでいく。

(2) 事業内容

①参加店舗の増加に向けた取組

民間企業に県全域での参加店舗拡大業務を委託するとともに、企業・業界団体訪問等により、ぎふっこカード・ぎふっこカードプラスへの参加依頼を進めていく。

②参加店舗のPR及び利用者の利用促進に向けた取組

岐阜県子育て家庭応援キャンペーン事業への参加店舗が、子育てに優しい店舗であることをPRするとともに、子育て世帯にぎふっこカード・ぎふっこカードプラスを利用することができる店舗を周知し、積極的な利用を促進していくために、PR用ポップやステッカー等の啓発物の作成・配付を行う。

(3) 県負担・補助率の考え方

- ・補助率：県 1/2、国 1/2（地域少子化対策重点推進交付金）
- ・広域的な子育て世帯の支援として県実施は妥当。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	32	プロポーザル審査会構成員への謝金
旅費	48	審査会構成員費用弁償
需用費	945	資料作成
役務費	714	参加店舗への連絡調整
委託料	8,863	参加店舗拡大業務、参加店舗向け・利用者向けアンケートの実施
合計	10,602	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第4次 岐阜県少子化対策基本計画

I 子育てを社会全体で支える意識を高めるための環境づくり

事業評価調査書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/> 新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/> 継続要求事業

1 事業の目標と成果

（事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか
 岐阜県子育て家庭応援キャンペーン事業を進めていくことにより、社会全体で子育て家庭を応援する機運を醸成する。

（目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R2年度 実績	R3年度 目標	R4年度 目標	終期目標 (R7)	達成率
① んふっこカード参加店舗数	/	6,314	/	/	7,400	85.3%
② んふっこカードプラス参加店舗数	/	2,857	/	/	3,800	75.2%

○指標を設定することができない場合の理由

（これまでの取組内容と成果）

令和2年度	<p>・取組内容と成果を記載してください。 んふっこカードは参加店舗数が6,303店舗（R3.8末）、んふっこカードプラスは参加店舗数が2,864店舗（R3.8末）まで拡大している。 んふっこカード・んふっこカードプラス参加店舗拡大に向けた店舗開拓を民間業者への委託により実施。 地域情報誌等を活用し、県民及び県内の企業・店舗に対しPRを実施するとともに、参加店舗拡大業務と連動させることで一層の店舗拡大につなげた。 令和3年8月末時点で、んふっこカード新規参加店舗数は169店舗、んふっこカードプラス新規参加店舗数は77店舗となっている。</p>
令和3年度	<p>令和5年度当初予算にて追加</p> <hr/> <p>指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%</p>

令和4年度	令和6年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___%

2 事業の評価と課題

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断） 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</p>	
(評価) 2	<p>令和元年度に県内50校の小学4年生の児童の保護者を対象にしたアンケート調査（回答人数2,301名）において、利用率は9割以上となっており、事業の必要性は高い。</p> <p>また、子育て期における経済的負担については、3人以上世帯の県民からの意見が多い中で、ぎふっこカードプラスによる経済的支援のニーズは高いといえる。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか） 3：期待以上の成果あり 2：期待どおりの成果あり 1：期待どおりの成果が得られていない 0：ほとんど成果が得られていない</p>	
(評価) 2	<p>両カードともに、子育て世代の認知度は高く、地域全体で子育て家庭を応援する機運の醸成に寄与している。</p>
<p>・事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか） 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</p>	
(評価) 1	<p>参加店舗拡大業務の委託先の選定に、プロポーザル評価方式を活用するなど、より効率的かつ効果的に事業を進めていけるように取り組んでいる。</p>

(今後の課題)

<p>・事業が直面する課題や改善が必要な事項</p> <p>アンケート調査においても参加店舗数の増加の要望は依然として多いため、今後も継続してぎふっこカード・ぎふっこカードプラスの参加店舗拡大に取り組んでいく必要がある。</p>
--

(次年度の方向性)

<p>・継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</p> <p>ぎふっこカード・ぎふっこカードプラス参加店舗の増加については、引き続き民間企業のノウハウを活用した店舗拡大業務を実施していく。</p> <p>また、県民や県内企業・店舗に対しては、引き続きPRポップ等の啓発物</p>

を配布することで、県としてPRを進めていくと同時に、ぎふっこカード・ぎふっこカードプラスの利用促進につなげていく。

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【〇〇課】
組み合わせる理由や期待する効果 など	